

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	研究成果の普及等に要する経費	担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度	担当課室	総務課	課長 鈴木 剛				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保障・人口問題分野における研究の進展は著しいが、行政と学界との間で必ずしも十分かつ活発な交流が行われているとはいいがたい状況がみられ、また、学界内部においても、経済学、社会学、法律学、行政学等からの学際的なアプローチによって研究されてきた経緯から、十分な交流の場が確保されていない状況にある。本事業では、国立社会保障・人口問題研究所における研究成果を紹介し、関係機関等との交流を図り、社会保障及び人口問題研究の発展に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	厚生政策セミナーの開催及び研究成果の公表に関する事業等を実施している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	5	4	4	4	4	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	5	4	4	4	4	
		執行額	4	4	2			
	執行率(%)	80%	100%	50%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研究所ホームページ(トップページ)に対するアクセス数		成果実績	アクセス	約90万	約80万	約80万	—
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	厚生政策セミナーの開催(年1回)		活動実績 (当初見込み)	—	開催	開催	開催	開催予定
単位当たりコスト	2(百万円)		算出根拠	セミナー開催にかかった経費				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.6	0.7	—				
	委員等旅費	0.09	0.09					
	試験研究費	4	4					
計	4	4						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	広く国民のニーズに配慮しつつ、人口問題及び厚生労働・社会保障施策に関連する制度横断的かつ国際的な観点からのテーマを選択して実施しており、国の政策への関心に応える事業内容として国費を投入すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の政策への関心に応えること事業内容であることを踏まえ、国で実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	研究成果を広く社会に提供するという、研究所の目的の達成するために必要な事業であり、優先度は高い。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	一般競争入札の実施や、契約金額が少額であっても見積合わせの実施により、競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	単位当たりのコストは妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
事業の 有効性	研究成果の普及は事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	セミナーのテーマ設定や会場選定など一般国民の参加を配慮している。また、研究所の研究成果公表についても、ホームページを通じて一般国民に高い関心のある研究論文等を分かりやすく情報提供しており、効果的な手段である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	セミナーのプログラムと報告資料はホームページ及び機関誌において公開しており、広く一般国民の関心に応えている。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	本事業は研究成果を広く社会に提供するという本研究所の目的に合致したものであり、厚生政策セミナーはその目的に沿って実施され、社会的な認知度も高い。また、研究成果については当研究所のホームページにて公表しており、平成24年度は約80万件のアクセスがあったところである。今後とも発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を継続しつつ、研究内容の質を維持するために必要な取組を実施することとする。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業は、社会保障政策の推進のため調査研究事業等に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	618	平成23年	559	平成24年	496

国立社会保障・人口問題研究所
2百万円

セミナー運営業務請負、会場使用料、セミナー等出席謝金・旅費

【一般競争入札】

A (株)ステージ
2百万円

〔セミナー運営業務請負〕

【随意契約】

B (財)星陵会
0.2百万円

〔会場使用料〕

C 個人(8人)
0.2百万円

〔委員会等出席謝金〕

D 個人(2人)
0.06百万円

〔セミナー等出席旅費〕

A.(株)ステージ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	セミナー運営業務請負	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ステージ	セミナー運営業務請負	2	3	62.4%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)星陵会	会場使用料	0.2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人O	セミナー出席謝金	0.05		
2	個人E	セミナー出席謝金	0.05		
3	個人Y	セミナー出席謝金	0.05		
4	個人J	研究会の講師料金	0.03		
5	個人K	研究会の講師料金	0.01		
6	個人K	研究会の講師料金	0.01		
7	個人M	研究会の講師料金	0.01		
8	個人S	研究会の講師料金	0.01		
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人O	セミナー出席旅費	0.03		
2	個人Y	セミナー出席旅費	0.03		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					